

2019年9月3日

(幼保連) 認定こども園さふらん



園だより

9月号

9月の聖句

あなたがたも愛によって歩みなさい

エフェソの信徒への手紙5章2節

芝生の上を赤とんぼが飛び交い、セミの声も心なしか和らぎ秋の気配が感じられる頃になりました。

始業日、夏期保育もあったからでしょうか、少し不安そうな子ども達も友達と遊ぶ内にすっかり元気になり安堵しました。

毎年、夏休み後半の土曜日に同窓会を開いています。午前は『学校楽しいですか?』の言葉にサインと写真を添えた年長さん特製カードを見てにっこりの1年生! 久しぶりに会う友達や先生と部屋やホールでコマ回しやカプラ、園庭では砂場や蝉取りとすっかり幼稚園時に戻って遊んでいました。学校生活に馴染み始めて頑張っている一人一人が頼もしく見えました。午後からは4年生と中学1年生、当時の面影を残しつつも背丈も伸び、大きく成長した姿が何より嬉しかった。アルバムを見ながらさまざまなことが思い出され懐かしい一時でした。『本当に成長したよね!』と、関わった教師全員の言葉に、卒業してそれぞれが歩んだ道のりがとても貴重に思えてなりませんでした。

親はいつの時も子育てに迷うことも多いのですが、親の思いではなく子どもの伸びる力を信じるのが大切なのだと心から思いました。

9月は、園生活のリズムを取り戻し、去りゆく夏と来る秋の自然を肌で感じながら、元気に過ごしたいです。後半は運動会に向けて各クラスでの話し合いも始まります。

今月の聖句はキリスト教の根幹をなす「愛」についてです。

『大切なものは目に見えない』（星の王子さまより）の言葉のように、愛・信頼・感謝など計ることや見ることが出来ない事柄こそが人生におい

て人間関係にとって最も重要であると心から思います。

学校法人松本学園の理事長の交代について

先の理事会において長く法人の理事長を務められた松本冠也（前パイオニア会長）が退任し、姉妹園である武蔵野中央幼稚園副園長の笠利眞里子が就任しましたのでお知らせいたします。

9月の園だよりから

園長 早坂 悦子

芝生の上を赤とんぼが飛び交い、暑い中にも季節はいつの間にか夏の終わりと秋の訪れを感じる頃になりました。

りんごさんがお山のすべり台に登って遊んでいると「ジー・ジー・ジー」と木の上からセミの声！「先生とって！」とRくん、担任が補虫網で採ると皆で覗きこみ手にしたU君の満足そうな顔「このセミあぶらセミって言うんだよ」傍にいた年少さんが教えてくれました。園庭のあちこちにセミの穴があり、この夏、抜け殻も沢山見つけました。ひだまりの子どもたちで抜け殻の違いを標本にして飾ってあります。カマキリやバッタにとんぼ・・・園庭のあちこちで自然に触れる体験を幼い日にこそいっぱいして欲しいと願っています。

この夏、担任以外の幼稚園の教師も入ることも多かったのですが、少しはにかみながらも子ども達はいつもと変わりなく過ごし、暑い日にはテラスで思う存分水遊び、部屋では人数も少なかったこともあり、のんびり思い思いに遊びました。

花壇のキュウリとトマトが大きくなり、もいで塩を付けてパクパク！「もっとちょうだい」と新鮮な野菜を何度も味わいました。

9月は、日常を取り戻しながら、暑い日には水遊びそして園庭で体を動かしてダンスをしたり走ったりと運動会を楽しみに待ちたいと思います。

季節の変わり目です。夏の疲れも出てくる頃ですので体調には充分気を付けて行きましょう。

今月の聖句「愛」はキリスト教の根幹をなす言葉です。親が子を慈しむように神様は私達を愛して下さっていることを信じて歩みたいと思います。

9月のナーサリーだよりから

園長 早坂 悦子